

1	組織名称(略称)	OpenFog Consortium(OpenFog) http://www.openfogconsortium.org			
2	分類	活動目的	フォーラム標準化	対象分野	情報技術(ソフトウェア関連)
	技術 M A P	活動エリア(注1)	0	活動技術(注2)	1
3	目的	OpenFogコンソーシアムの目的は、フォグコンピューティングのオープン・リファレンス・アーキテクチャを構築し、運用モデルやテストベッドを提供し、テクノロジーの定義付けし、市場へ啓蒙を行い、事業化を促進することにある。			
4	組織構成	技術委員会 技術ワーキンググループ <ul style="list-style-type: none"> ・ アーキテクチャワーキンググループ ・ 通信ワーキンググループ ・ マネージャビリティワーキンググループ ・ セキュリティワーキンググループ ・ ソフトウェア・インフラストラクチャワーキンググループ ・ テストベッドワーキンググループ マーケティング委員会 日本地域委員会			
5	参加資格費	Contributing Member: 年会費 \$100,000 USD Influencing Member: 年会費 \$25,000 USD Small Company Member: 年会費 \$10,000 USD Government/Special Interest Group Member: 年会費 \$5,000 USD Academic/Nonprofit/Individual Member: 年会費 \$5,000 USD			
6	主要メンバー (2017年8月現在) (注3)	主要メンバー: Founders: ARM, Cisco, Dell, Intel, Microsoft, Princeton University Contributing Members: Foxconn, GE Digital, Hitachi, SAKURA Internet, ShanghaiTech University, ZTE Corporation うち日本企業: 2社(日立、さくらインターネット) 会員数: 57 うち日系企業数: 11			
7	他団体・組織との関係	リエゾンなど Affiliations: Barcelona Supercomputing Center, IEEE, IoT推進コンソーシアム Liaisons: OPC Foundation			
8	TTC活動との関連性 (注4)	■TTCの専門委員会活動と関係あり 対象専門委員会: マルチメディア応用専門委員会 <input type="checkbox"/> なし			
9	活動状況	(発行ドキュメント・ソフト、会合開催状況など) News: April 26, 2016 OPC Foundation and OpenFog Consortium Agree to Collaborate on Technical Specifications around Fog Computing in Industrial Automation October 3, 2016 Fog is expanding in Japan: Liaison signed with IoT Acceleration Consortium, and Hitachi elected as Regional Director of Japan Regional Committee October 26, 2016 Barcelona Supercomputing Center forms strategic collaboration agreement with			

		<p>the OpenFog Consortium February 8, 2017 OpenFog Consortium Releases Landmark Reference Architecture for Fog Computing</p> <p>Events: Monday, April 24 OpenFog Greater China Region Opening Ceremony June 6-8, 2017 Denver OpenFog Members Meeting September 12-14, 2017 Seattle OpenFog Members Meeting October 30 - November 1, 2017, Santa Clara, CA Fog World Congress</p>
10	設立時期	2015年11月
11	本部所在地	5177 Brandin Court Fremont, CA 94538 United States
12	関連標準化技術	オープンなリファレンスアーキテクチャを作ることを目的としているが、特定の標準化は行っていない。
13	備考	<p>規格に基づく製品の普及状況: 不明</p> <p>Bylaws: http://www.openfogconsortium.org/wp-content/uploads/OpenFog-Bylaws-9-08-2016.pdf</p> <p>IPR Policy: https://www.openfogconsortium.org/wp-content/uploads/IPR-Policy_03-10-16-Name-Change_909479.pdf</p>
14	更新年月	2017年8月

(注1) 活動エリアは以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 2: モバイル系領域を中心に活動を実施
- 1: モバイル系領域の活動を主に、固定系領域の活動も実施
- 0: モバイル系、固定系の両領域にまだがって活動実施
- 1: 固定系領域の活動を主に、モバイル領域の活動も実施
- 2: 固定系領域を中心に活動を実施

(注2) 活動技術は以下から最も適当な項目を選択し、その番号を記入のこと。

- 3: APL(アプリケーション)領域の活動を実施
- 2: APL領域の活動を主に、MDL(ミドルウェア)領域の活動も実施
- 1: APLとMDLの両領域の活動を実施
- 0: MDL領域の活動を実施
- 1: NW(ネットワーク)領域の活動を主に、MDL領域の活動も実施
- 2: NW領域の活動を実施
- x: 該当せず等

(注3) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注4) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。